

絶対発音力

CONTENTS

はじめに	003
------	-----

第1部 英語発音のポイント

発音力は英語力	010
超入門：母音と子音	016
超入門：音節の大切さ	030
日本人英語の音声的特徴	036

第2部 子音をマスターする

要注意の子音たち	050
S 海は「シー」じゃありません	056
Z 音楽は「ミュージック」じゃありません	062
T 2は「ツー」じゃありません	068
TH 3は「スリー」じゃありません	072
TH 母は「マザー」じゃありません	080
F 食べ物は「フード」じゃありません	084
V 声は「ボイス」じゃありません	092
R 「ライト」じゃどちらか分かりません	100
L 決して「ら行」じゃありません	110
RとLの切り替えトレーニング	120
子音連結は英語発音の鍵	126

ィブの先生に教わっている生徒よりも発音が上達します。

次の感想は、大学1年生のリョウスケ君が、私の授業と同時にネイティブの先生の授業も1年間受けた後に書いてくれたものです。

「先生の授業が大好きでした。どんだけ単語を知ってるのかも大事だけど、やっぱり発音が一番大事だと思います。先生はアメリカ人の先生より発音に厳しく、とても意味ある授業だったと思います。先生の授業がなくなると思うと悲しいです。」

発音はいくつになっても身につきます

今の世の中で、世界共通語としての英語の重要性は年々増すばかりです。日本でも小学校での英語教育が本格的に始まっています。ところが非常に困ったことに、小学校英語教育を進めている人たちのほとんどが、「とにかく楽しく学ばせよう。発音にはあまりこだわる必要はない」と考えているようです。

その結果、「とんでも英語発音」のまま歌を歌ったり、ゲームをしたりと、英語習得以外の部分が「楽しい」授業ばかりが行われています。しかし、英語らしい発音を身につけることのほうが、将来、本当の意味で「楽しい」結果につながるのには言うまでもありません。英語教育の専門家として断言できますが、日本の環境に身を置いたまま、たまにネイティブの発音を「聞き流」しているだけでは、英語発音は絶対に習得できません。初めて英語に接する時こそ、きちんとした発音を身につけることが大切です。お父さん、お母さんは、子どもさんが英語に初めて触れる時、ぜひこの本を活用してください。

また、「大人になったら発音は身につかない」というのは単なる“神話”です。高校生も、大学生も、それどころか70歳を超えても、rの音を身につける能力は変わらなかったという報告もあります。やる気と正しいメソッドがあれば、いくつになっても発音は身につくのです。私の生徒の中には40歳以上の人たちもいますが、ぐんぐんうまくなってくれます。

この本を手にとったみなさん、やる気はすでにありますね。おめでとうございます！みなさんは、その「やる気」を注ぎ込む対象として最もふさわしいメソッドと、たった今運命的な出逢いをしました。いったん身についた英語らしい発音は一生の宝ものです。この本を使って、ぜひその宝ものを手に入れてください。

2009年 夏 静 哲人

編集協力	松本 静子
カバーデザイン・ 本文レイアウト	天地 聖 (細山田デザイン事務所)
DTP	朝日メディアインターナショナル
ナレーター	ルミコ・バーンズ
CD収録・編集	ELEC 録音スタジオ

これで英語が引き締まる!

「う」の前の /w/ 女性は「ウーマン」じゃありません	134
語末の /n/ 1は「ワン」じゃありません	136
/ŋ/ 歌うは「スィング」じゃありません	144
ろうそく吹き消す /p/ /t/ /k/	148

第3部 母音もこれで完璧

基礎訓練：母音ストレッチング	154
3タイプの「ア」	164
2種類の「アー」	170
「イ」と「イー」の違いは長さではない	174
「ウ」と「ウー」の違いは長さではない	178
「オウ」と「オー」のオーキナ違い	180
総復習：子音・母音七変化トレーニング	184

第4部 リンキングとポンポンで英語らしさを

リンキングの大切さ	188
ポンポン・メソッドで強弱を	204

おわりに	230
------	-----

第1部

英語発音の ポイント

絶対発音力

S

/s/

第2部 子音をマスターする

優先度 ★★★ 難易度 ★

海は「シー」じゃありません

イ段に注意!

まず、/s/の音からやっつけましょう。/s/の音自体は日本人にとって決して難しくはないのですが、後に「イ」と「イー」が続く場合に限って大きな問題が起きます。/s/の後に「イー」が続くと、「スィー」になるべきなのですが、これを日本人は「シー」と言うてしまうからです。例えば、sea (海)、season (季節) はそれぞれ「スィー」「スィーゼン」なのですが、「シー」「シーゼン」と発音してしまう誤りが多いです。

最悪なのは、sit (座る) を「シット」と発音してしまうことです。「シット」はshit、すなわち「大便」「クソ!」という、英語圏では公共の場では言うてはいけないことになっている語に聞こえてしまいます。ドッグトレーナーがイヌに対して用いる命令文のひとつに、Sit! (おすわり) がありますが、これを輸入した日本ではそれを訳さず、そのまま「シット!」と言っています。(ちなみになぜ「座れ」などと訳さないかということ、訳してしまうと方言や男女の差などでさまざまなバリエーションが出てしまうのに対して、英語だと一通りだから、だそうです。それならぜひ、「スィット」を採用して欲しかった……)。

またフィギュアスケートの技のひとつに、sit spin (片方の足を前に出して、しゃがんだ姿勢で回るもの) というのがありますが、これもカタカナで「シットスピン」と言っているようです。テレビで若い女性の解説者があれを言うのを聞く度に、私などは、イメージとはかけ離れた「ウンコスピン」(ごめんなさい!) を連想してしまっ困ります。国際的な競技なのですから少し考えて欲しいですね。

また「シティ」はshitty (クソまみれの) に聞こえてしまうので、「シティボーイ」などと言うと、これまたひどい光景が浮かんできます。

日本語サ行の特徴

日本人がこういう誤りに陥ってしまうのは日本語に「スィ」という音がないので、日本語にある中で最も近い「シ」で代用してしまうからです。根っこの原因を探るた

めに、五十音表のサ行を分析してみましょう。「サシスセソ」を、ヘボン式ローマ字 (英語の発音を元にした方式のローマ字) で表記すると、

sa shi su se so

となります。「シ」にあたる shi だけ、子音部分が他の音と違って sh になっていますね。実際、発音記号で書けば、

/sa ʃi su se sɔ/

となります。つまり日本語の「サシスセソ」は、音声的に見ると s グループ (サ、ス、セ、ソ) の中に1つだけ sh グループに所属する異端児 (シ) が入り込んで出来ているのです。では日本語50音の中で sh グループはどこにあるかと言えば、シャ行にあります。「シャ、シ、シュ、シエ、シヨ」のヘボン式表記は

sha shi shu she sho

であり、発音記号表記は、

/ʃa ʃi ʃu ʃe ʃɔ/

です。つまり、日本語のサ行のイ段 (シ) は、音声学的にはシャ行のイ段になってしまっていて、本当の意味でのサ行のイ段 (スィ) がない、という特殊な構造なのです。

さ し す せ そ
しゃ し しゅ しえ しよ

これは決して、日本語がおかしな言語だ、というニュアンスで言っているのではありません。日本語に限らず自然言語にはそれぞれ固有の特徴があります。ただ日本語の特徴を考えた時、それを母語とする人が英語発音を身につけようとする場合には、次のような「英語式サ行」と「英語式シャ行」を練習すると効果的だということが言えるのです。

英語式サ行とシャ行

Track A-03

英語式サ行

英語式スペリング	sあ	sい	sう	sえ	sお
おおよその発音	サ	スイ	ス	セ	ソ

英語式シャ行

英語式スペリング	shあ	shい	shう	shえ	shお
おおよその発音	シャ	シ	シュ	シェ	ショ

「あれ、『英語式シャ行』とあるけど、日本語のしゃ行と同じでは？」と思ったのではないのでしょうか。そのとおりです。ではなぜわざわざ「英語式シャ行」などと呼んだかと言えば、英語にも「シャ行」があることを強調したかったからです。

seaは「シー」でなく「スイー」、sitは「シット」でなく「スイット」ですよ、という話をすると、『英語には「シ」という発音は全くなく、カタカナ発音で「シ」と書かれる部分は、英語ではすべて「スイ」になるんだな』と早とちりをする人がいます。そして「彼女がね……」というのを「スイーイズ……」などと発音するのですが、それは大きな勘違いです。英語にもちゃんと「シ」という発音はあるのです。

例えば、sheets (寝具のシート)、sheep (羊)、ship (舟)などは、それぞれ、「シート」[シーp]「シッp、あるいはシェッp」のような発音であって、「スイーts」「スイーp」「スイッp」などと発音してはいけません。そんな発音をすると全く別の単語、seats (座席)、seep (しみ出す)、sip (すする)などに聞こえてしまいます。

つまりカタカナ英語表記で「シ」「シー」となる部分にも、そのまま「シ」「シー」でよい(というより、そのままでなければならない)ものと、「スイ」「スイー」でなければならないものがある、ということです。

シとスイの見分け方

ではどうやって見分けるのでしょうか。実は非常に簡単です。上の「英語式サ行」と「英語式シャ行」を見れば分かるように、「シ」「シー」に当たる英語のスペリングが、sならば「スイ」「スイー」、shならば「シ」「シー」となる、だけの話です。ついでに言うておきますと、sだけでなく、cやscでも「スイ」です(ただし、vision、mansion、fusionなどの-sionの中のsは例外で、「シ」系あるいは「ジ」系で、「ジョン」または「ジョン」と発音します)。

カタカナ読みが「シ」の場合

スペリングが s (またはc) → 「スイ」 sing city など
 スペリングが sh (またはch) → 「シ」 ship machine など

それではちょっと練習してみましょう。次の語を英語として発音する時に下線部には「シ」と「スイ」のどちらを用いるべきでしょうか。分かる人はスペリングを思い出してみましょう。分からなかったら下の正解スペリングを見て確認してから、CDで実際の音を聞いてみましょう。

シンガー (歌手) プッシング (押すこと) パッシング (踏み越えること)
バッシング (いじめること) ダンシング (踊ること) シンデレラ シルク
シンガポール シーズン リーダーシップ スポーツマンシップ
シーフード シマー (輝く) ゴシップ インターンシップ (体験就業)
シーン (光景) ポッシブル (可能な) シングル アシスタント
シネマ シリアス シート (敷くもの) シート (席) シミュレーション
アグレッシブ サンフランシスコ シアトル ベーシック

Track A-04

singer pushing passing bashing dancing Cinderella
 silk Singapore season leadership sportsmanship
 seafood shimmer gossip internship scene possible
 single assistant cinema serious sheet seat simulation
 aggressive San Francisco Seattle basic

English日本語エクササイズ

前に書いたように、英語には「シ」も「スイ」も存在します。しかし日本語50音には「スイ」が存在しないので、口慣らしのために、こちらだけ特に取り上げて練習する必要があります。そこであえて日本語の「シ」を「スイ」と発音する練習をしてみます。

次の五七五の日本語の「シ」の部分、普通に「シ」を使うJapanese日本語（J日）バージョンと、「スイ」に置き換えたEnglish日本語（E日）バージョンの両方で読んでみましょう。

言うまでもなく、これらの日本語フレーズにおいて正しい発音は「シ」であり、「スイ」ではありません。ですから「スイ」という音を用いてこれらの日本語を読めば非常に変に（あるいはおかしく）感じられるはずです。そして、それこそがこのエクササイズのねらいです。我々日本語ネイティブスピーカーの耳に変に聞こえるということは、日本語にない「スイ」の音が正しく出ている証拠です。逆に言えば日本人にとって変に感じられる音が出るように頑張ってみてください。なお最後の「シクラメン」は、英語の綴りは *cyclamen* ですから、実際にも「シ」でなく「スイ」のほうが正しいです（cy は sy と同じく「sい」と発音します）。

Track A-05

新幹線 新大阪まで 指定席

J日：shいんかんせん shいんおおさかまで shいていせき

E日：sいんかんせん sいんおおさかまで sいていせき

真剣に 告白したら シカトされ

J日：shいんけんこくはくshいたら shいかとされ

E日：sいんけんこくはくsいたら sいかとされ

シクラメン しおれてしまって 悲しいな

J日：shいくらめん shいおれてshいまって かなshいいな

E日：sいくらめん sいおれてsいまって かなsいいな

三三七拍子エクササイズ

今度は、「sい」の音を含む英単語を、発音に気をつけながら正確にかつすばやく発音する練習をしてみましょう。CDに合わせて、最初はごくゆっくり、2回目は普通のスピードで発音してください。あくまでも、1に正確さ、2にスピードです。

Track A-06

Cindy's still single!

● ● ●

Cindy's still single!

● ● ●

Cindy's single! Cindy's single! Cindy's still single!

● ● ● ● ● ● ● ●

(シンディはまだ独身だよ)

Track A-07

Lucy likes seafood!

● ● ●

Lucy likes seafood!

● ● ●

Likes seafood! Likes seafood! Lucy likes seafood!

● ● ● ● ● ● ● ●

(ルーシーはシーフードが好き!)